

■ 人物紹介

生没年：1870-1945

ゆかりの地：山口市

ジャンル：哲学・評論

戦前に活躍した、日本を代表する哲学者の一人。

明治3年5月19日、石川県河北郡宇ノ気村(現かほく市)に生まれる。第四高等学校を中退後、東京帝国大学で哲学を学ぶ。卒業後は石川に戻るが、離婚と免職を経験、恩師の招きにより山口高等学校の講師となり、2年弱を山口で過ごす。

山口を離れたのち、母校第四高等学校や京都帝国大学で教え、日本人の手になる初の独自の哲学書とされる『善の研究』を刊行するなど、独特な「西田哲学」を確立した。

昭和20年6月7日、死去。75歳。

参考文献

『やまぐちの文学者たち 追補版』

(やまぐち文学回廊構想推進協議会 編集・発行 2013 請求記号：Y910/P 9)

■ 資料紹介

◆ 主な伝記

『人間・西田幾多郎』

(藤田正勝 著 岩波書店 2020

請求記号：Y121/Q 0)

西田の全集の編集に携わった研究者による詳細な伝記。巻末に参考文献、略年譜あり。

『祖父 西田幾多郎』『同 続』

(上田久 著 南窓社 1978, 1983

請求記号：I21.9/K 8)

西田の孫による伝記。親族ならではの挿話が多く含まれている。正編が『善の研究』の刊行まで、続編が没するまでを対象としている。

『山口の西田幾多郎』

(横田理博 著 電気通信大学 2015

請求記号：Y121/P 5)

「電気通信大学紀要」(27)Iに掲載された論文の抜き刷り。山口時代の西田の住居、生活、著作などについて詳しく論じている。

◆ 作品集など

『善の研究 ワイド版岩波文庫』

(西田幾多郎 著 岩波書店 2012

請求記号：I21.63/P 2)

西田の主著『善の研究』を比較的大きな活字で読むことができる。難解とされる『善の研究』には解説書も多いが、比較的平易なものとして、例えば『善の研究 西田幾多郎 NHK「100分de名著」ブックス』(若松英輔 著 NHK出版 2025 請求記号：I21.63/Q 5) などがある。

『新版 西田幾多郎全集』全25巻

(西田幾多郎 著 岩波書店 2002-2020 請求記号：R121.6/N 2)

西田の全集の新版。第1巻から第10巻までは単行本として出されたもの、第11巻以降は小篇、講演、講義ノート、日記、書簡などを収録。第24巻には、総目次索引、人名・書名索引、年譜などがある。

◆研究文献など

“日本哲学史専修ウェブサイト 西田幾多郎”

(京都大学大学院文学
研究科・文学部)

<https://www.bun.kyoto-u.ac.jp/japanese-philosophy/guidance-nishida/>



日本における代表的な哲学者らを紹介したウェブページのうち、西田を紹介したもの。略歴のほか、主な著作や基本的な解説書、最近の研究動向がわかる資料などが挙げられている。

“国立国会図書館 サーチ”

(国立国会図書館)

<https://ndlsearch.ndl.go.jp/>



国立国会図書館、都道府県立・政令指定都市立図書館、大学図書館などの蔵書や、雑誌記事、デジタル化資料などを広く検索できるウェブサイト。西田に関する資料を広く探すことができる。

◆文学館・史跡など

“西田幾多郎旧宅”（山口市）

山口滞在時に西田が下宿した建物で、「山口西田読書会」の活動場所ともなっている。このほか、西田の生地建てられた記念館として“石川県西田幾多郎記念哲学館”（石川県かほく市）がある。

- このほか、当館ウェブサイトや館内の蔵書検索機の「なんでも検索」で「西田幾多郎」と入力して検索すると、関係する資料を幅広く探せます。

ウェブサイトの最終確認日：2025年10月29日

■お探しの資料が見あたらないときは、当館職員へお尋ねください。

山口県立山口図書館 総合サービスグループ
TEL：083-924-2114（調査・相談）
FAX：083-932-2817
WEB：<https://library.pref.yamaguchi.lg.jp>

にしだ きたろう 西田 幾多郎

について調べる

- 西田幾多郎の作品を読んだり、彼について調べたりするための、基本的な資料をご紹介します。
- ここで取り上げた資料は2階の「山口県文学」、「人文と社会のフロア」などの本棚にあります。
- この他にも、関係する資料があります。くわしくは、カウンターの職員にお尋ねください。

作成日：2025年10月29日